

テーマ

全島民参加型の大規模避難訓練について

鹿児島県十島村立諏訪之瀬島小・中学校

I 学校の概要（立地状況等含む）

本校は、鹿児島市から273km、トカラ列島のほぼ中央にあり、島の9割を溶岩・火山が占め、北部には活火山御岳（標高799m）がある。活発な火山活動だけでなく、大型台風の通過等、他の離島の中でも災害の危険度が高い島の一つである。

II 避難訓練の取組の概要

1 取組の内容、方法等

(1) 火山爆発を想定した全島民参加型の島避難訓練。島外避難を想定し、県・十島村・諏訪之瀬島が連携した大規模な避難訓練を年一回実施している。

(2) 関係機関とともに危険発生時の対応方法を共有し、連携した対応を図ることになっている。課題はあるが、一刻をあらそう災害等を想定し、実行性の高い訓練を実施している。学校では、出張所・消防・診療所等の緊急連絡先一覧表を掲示するなど関係機関へ速やかに連絡がとれるような体制づくりをしている。

2 避難訓練の内容とねらい

(1) 鹿児島気象台が噴火警報レベル5「移住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生あるいは切迫している状況」という特別警報を発令したことに基づき、奄美海上保安部巡視船及び航空自衛隊南西航空方面隊ヘリによる島外脱出を行う。

(2) 非常時発生に際し、児童生徒及び教職員の生命の安全と保護に努めるとともに安全かつ迅速に避難できる能力を身に付けさせる。

3 避難訓練実施までに工夫したこと

(1) 危険発生時の対応方法を共有し、関係機関との連携や専門的な助言と作成したマニュアルの検証を毎年行いながら実効性を高めることにしている。

(2) 火山に対する正しい知識を知るための防災教室の実施と校内に火山に関する情報を掲示している

4 避難訓練の状況

(1) 全島民参加型の大規模避難訓練の実施

ア 開催期日 令和元年11月9日
イ 参加者 全児童生徒、全島民
ウ その他 十島村、鹿児島県海保巡視船、航空自衛隊

(2) 避難訓練の実際



【火山爆発における空と海から避難訓練の場面】



【火山爆発における避難訓練の場面】

5 取組の成果と課題

(1) 成果

防災教育について、全職員で教育活動や業務等に潜んでいる問題点や課題等を把握し、児童生徒だけではなく、教職員にも日常の備え（心・行動・物）を意識させることで危機意識が向上した。今後も実効性の高い避難訓練を実施していきたい。

(2) 課題

大規模噴火に備えた万全の準備と行政観測・研究機関や防災関係機関等との連携と危機発生時の役割を島民と共に常に認識し、迅速かつ的確に対応ができるようにしていきたい。